

マニユライフ・
カナダ債券ファンド
愛称：メープルギフト

－受益者のみなさまへ－

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「マニユライフ・カナダ債券ファンド（愛称：メープルギフト）」は、このたび、第132期の決算を行いました。

当ファンドは、「マニユライフ・カナダ債券マザーファンド」への投資を通じて、実質的にカナダドル建ての公社債および短期金融商品等に投資を行い、安定した金利収入の確保および中長期的な値上り益の獲得をめざして運用を行いました。

ここに、第127期～第132期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第22作成期

第127期	（決算日	2023年3月20日）
第128期	（決算日	2023年4月20日）
第129期	（決算日	2023年5月22日）
第130期	（決算日	2023年6月20日）
第131期	（決算日	2023年7月20日）
第132期	（決算日	2023年8月21日）

作成対象期間（2023年2月21日～2023年8月21日）

第132期末（2023年8月21日）

基準価額	8,408円
純資産総額	1,819百万円
第127期～第132期 （2023年2月21日～2023年8月21日）	
騰落率	6.4%
分配金合計	90円

（注）騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館

お問い合わせ先

サポートダイヤル：03-6267-1901

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページアドレス：www.manulifeim.co.jp/

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により交付する旨を定めております。

<閲覧方法>

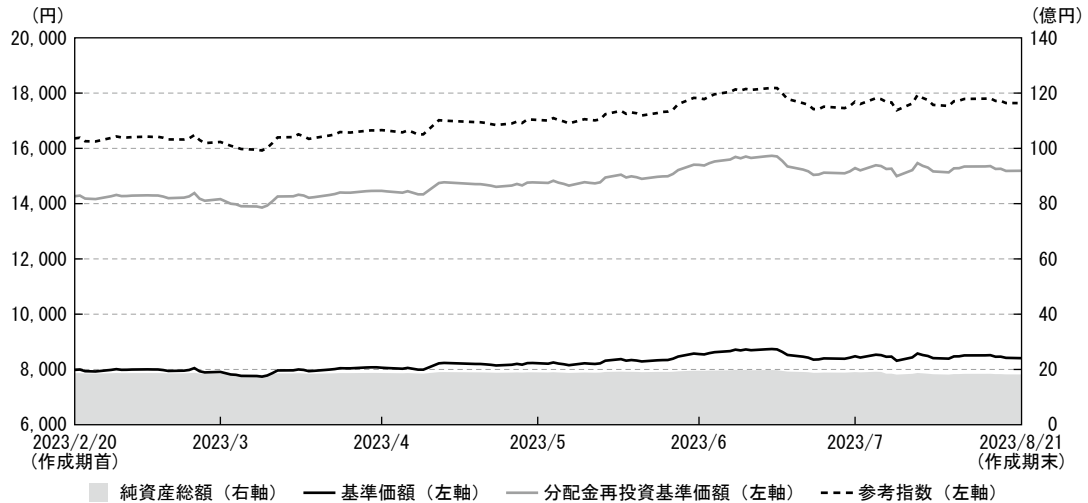
当社ホームページアドレスにアクセス⇒ファンド情報⇒該当ファンド名を選択⇒目論見書・レポート等を選択

※将来、ホームページの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

○運用報告書（全体版）については、弊社ホームページに掲載しています。また、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社にお問い合わせ下さい。販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。

運用経過

■基準価額等の推移（2023年2月21日から2023年8月21日まで）



作成期首：7,985円

作成期末：8,408円（既払分配金90円）

騰落率：6.4%（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、FTSE/TMXカナダ・オール・コーポレート・ボンド・インデックス（円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

- ・カナダの国債利回りの上昇がマイナスに寄与しました。
- ・安定的な利息収入がプラスに寄与しました。
- ・カナダドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに寄与しました。

◆当作成期間の組入ファンドの騰落率

組入ファンド	騰落率
マニュアル・カナダ債券マザーファンド	7.3%

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第127期～第132期		項目の概要
	(2023年2月21日～2023年8月21日)		
	金額	比率	
平均基準価額	8,216円	—	作成期間の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	60円 (29) (29) (2)	0.735% (0.357) (0.357) (0.022)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用 （保管費用） （監査費用） （印刷） （その他）	11 (3) (3) (5) (0)	0.130 (0.037) (0.032) (0.059) (0.001)	(e) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用 ・その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	71	0.865	

* 作成期間の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

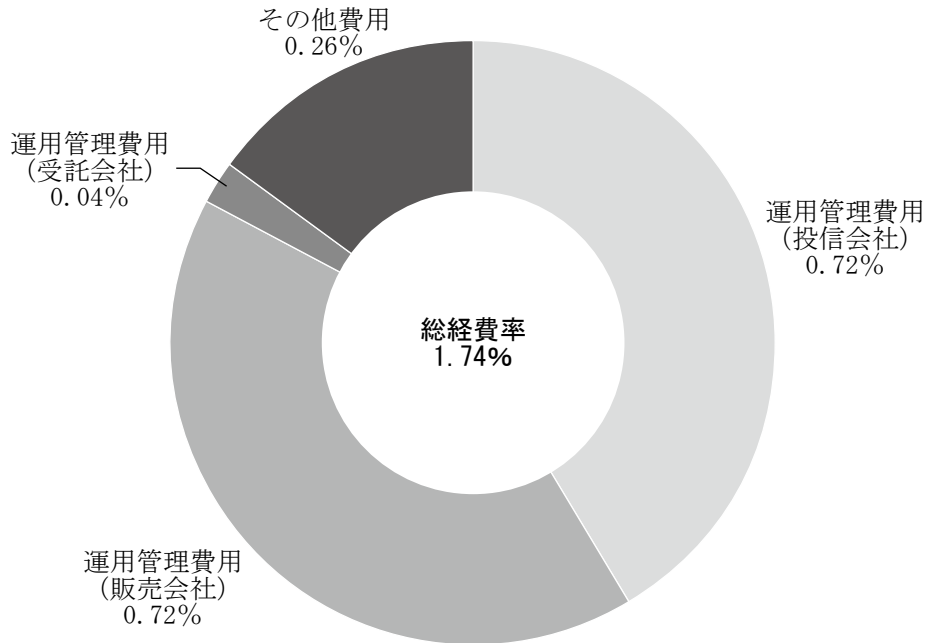
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。

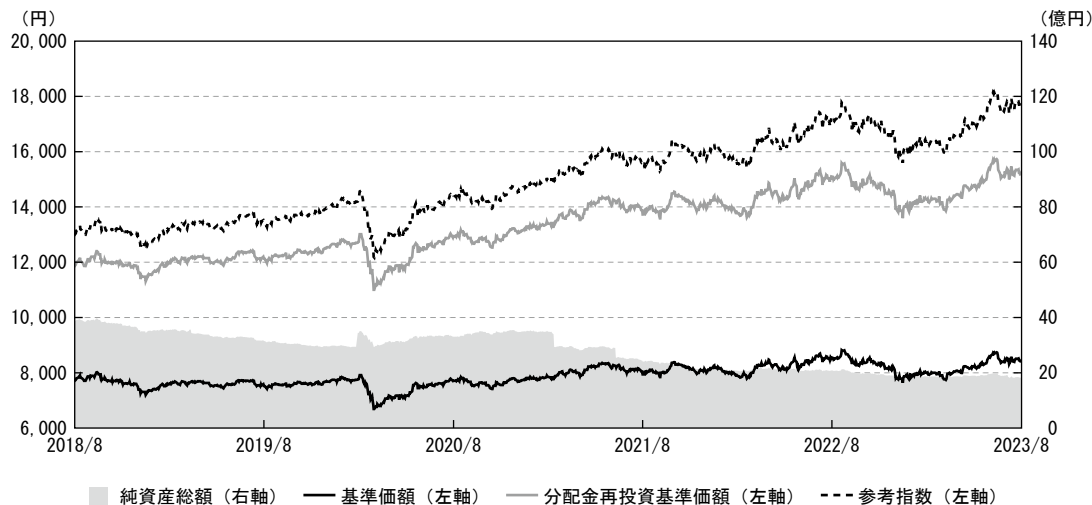


*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値です。

*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、FTSE/TMXカナダ・オール・コーポレート・ボンド・インデックス（円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日	2018年8月20日	2019年8月20日	2020年8月20日	2021年8月20日	2022年8月22日	2023年8月21日
基準価額 (円)	7,751	7,521	7,710	7,941	8,536	8,408
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	360	300	230	180	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.7	6.7	6.1	9.9	0.7
参考指数騰落率 (%)	—	3.0	6.8	7.5	11.4	2.6
純資産総額 (億円)	38.8	31.5	33.1	24.1	20.8	18.2

※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。したがって、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

FTSE/TMXカナダ・オール・コーポレート・ボンド・インデックスとは、FTSE/TMXが開発した、カナダの投資適格社債の価格動向を示す指数です。

■投資環境

[カナダ債券市況]

期初3.2%台であったカナダ長期国債利回りは、物価上昇を背景としたカナダ銀行（中央銀行）による利上げや米長期金利の上昇などを背景に上昇し3.7%台で期を終えました。カナダ社債は、カナダ長期金利の上昇がマイナス寄与した一方、安定的な利息収入がプラス寄与し、期を通じて概ね横這いとなりました（トータル・リターン・ベース）。

[為替市況]

外国為替市場では、カナダドルは対円で上昇（円安）しました。期初に99円台で始まった後、カナダ銀行（中央銀行）の利上げや、それに伴うカナダ長期金利の上昇などがカナダドル買い要因となり、当期末には107円台となりました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンド

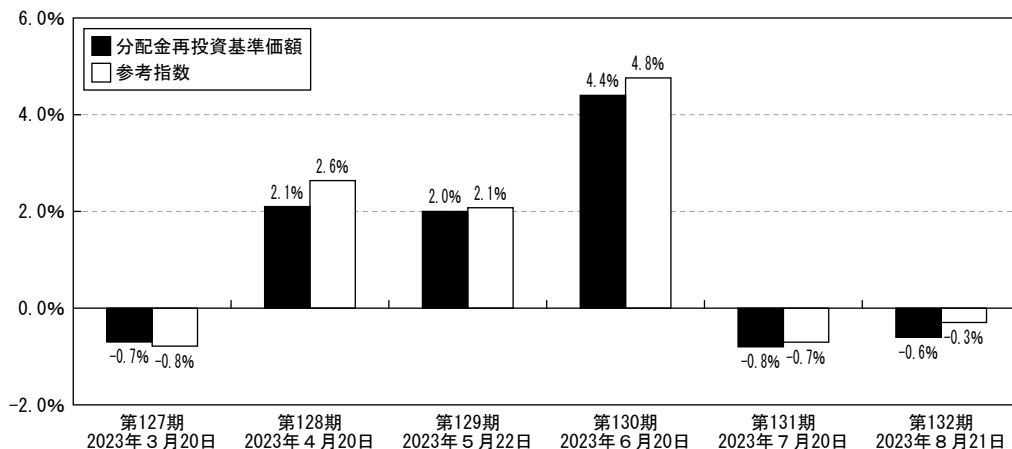
主要投資対象とする「マニユライフ・カナダ債券マザーファンド」受益証券の組入比率は高位に維持しました。

マニユライフ・カナダ債券マザーファンド

安定した金利収入の確保と中長期的な値上り益の獲得をめざして、主にカナダドル建ての公社債に投資を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



※当ファンドの参考指数は、FTSE/TMXカナダ・オール・コーポレート・ボンド・インデックス（円換算ベース/三菱UFJ銀行 T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前日を10,000として、委託会社が算出したものです。

■収益分配金について

当作成期間の収益分配は、分配方針に基づき第127期～第132期15円、合計90円とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず運用の基本方針に基づき運用を行います。

[分配原資の内訳]

(1万口当たり、税引前)

	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
	自 2023年2月21日 至 2023年3月20日	自 2023年3月21日 至 2023年4月20日	自 2023年4月21日 至 2023年5月22日	自 2023年5月23日 至 2023年6月20日	自 2023年6月21日 至 2023年7月20日	自 2023年7月21日 至 2023年8月21日
当期分配金 (円)	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率) (%)	0.189	0.186	0.182	0.175	0.177	0.178
当期の収益 (円)	12	13	14	11	14	12
当期の収益以外 (円)	2	1	0	3	0	2
翌期繰越分配対象額 (円)	434	447	461	476	481	488

(注1) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注3) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

■今後の運用方針 当ファンド

主要投資対象とする「マニユライフ・カナダ債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に保ち、安定した金利収入の確保と中長期的な値上り益の獲得をめざして運用を行う方針です。

マニユライフ・カナダ債券マザーファンド

市場では、カナダ銀行（中央銀行）の利上げがいつまで継続するのかが注目されています。昨年からの継続する利上げ局面は既に終盤にあると考えられ、これまで見られたような利上げが継続する可能性は低いものと考えられます。またこれまでの金融引き締め政策により、景気後退リスクが表面化する可能性もあると考えられます。このような環境下、ポートフォリオの金利感応度を高めることによって、金利低下にも対応できるように備える方針です。

カナダ社債市場については、今後も堅調に推移するとの見通しに変わりはありません。カナダ企業は総じて健全な財務体質を有しており、相対的に高い利回りを求める投資家の需要もカナダ社債市場を後押しすると考えられます。当ファンドでは、安定した利息収入の獲得および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

また、投資対象の格付は、取得時において投資適格（スタンダード&プアーズ社でBBB-以上、ムーディーズ社でBaa3以上またはそれらと同等）とすることを基本とします。

お知らせ

◆約款変更

該当事項はありません。

◆運用体制の変更

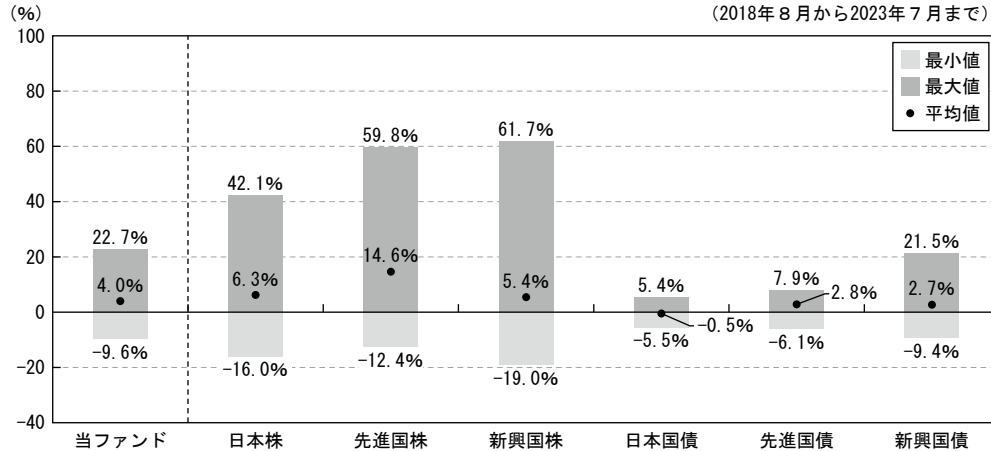
該当事項はありません。

当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2012年9月7日から無期限です。	
運 用 方 針	主として「マニユライフ・カナダ債券マザーファンド」受益証券を通じて、実質的にカナダドル建ての公社債および短期金融商品等に投資することにより、安定した金利収入の確保および中長期的な値上り益の獲得をめざして運用を行います。	
主 な 投 資 対 象	ベ ビ ー フ ァ ン ド	<p>「マニユライフ・カナダ債券マザーファンド」（以下、「マザーファンド」といいます。）受益証券を主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資にあたっては、実質的にカナダドル建ての社債を中心に投資を行います。 ・実質投資対象の格付は、取得時において投資適格（スタンダード&プアーズ社でBBB-以上、ムーディーズ社でBaa3以上またはそれらと同等）とすることを基本とします。
	マ ザ ー フ ァ ン ド	主にカナダドル建ての公社債を投資対象とします。
マザーファンドの 運 用 方 法	マニユライフ・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限（国内の短期金融資産の運用の指図に関する権限を除きます。）の一部を委託します。	
主 な 投 資 制 限	ベ ビ ー フ ァ ン ド	<p>①債券への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
	マ ザ ー フ ァ ン ド	<p>①債券への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分 配 方 針	<p>毎決算時（原則毎月20日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②基準価額の水準等を勘案して分配するものとします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

※当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額の年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記は、2018年8月から2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）

（注）海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円換算しております。

※詳細は後掲の「指数に関して」をご参照ください。

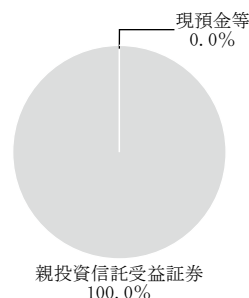
当該投資信託のデータ

■当該ファンドの組入資産の内容

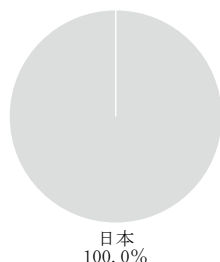
○組入（上位）ファンド（1銘柄）

銘柄名	第132期末
	2023年8月21日
マニユライフ・カナダ債券マザーファンド	100.0%
現預金等	0.0%

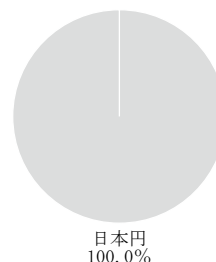
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入比率は純資産総額に対する比率です。

(注2) 計理処理の仕組み上、「現預金等」の数値がマイナスになることがあります。

(注3) 数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

■純資産等

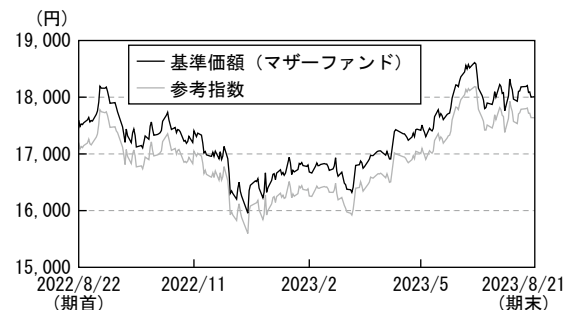
項目	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末	第131期末	第132期末
	2023年3月20日	2023年4月20日	2023年5月22日	2023年6月20日	2023年7月20日	2023年8月21日
純資産総額	1,846,340,024円	1,870,652,149円	1,890,451,845円	1,953,486,663円	1,904,179,037円	1,819,739,812円
受益権総口数	2,333,829,714口	2,320,068,798口	2,303,245,119口	2,283,027,800口	2,246,381,501口	2,164,262,175口
1万口当たり基準価額	7,911円	8,063円	8,208円	8,557円	8,477円	8,408円

※当作成期間（第127期～第132期）中における追加設定元本額は51,621,290円、同解約元本額は221,195,963円です。

■組入上位ファンド（銘柄）の概要

◆マニュアルフ・カナダ債券マザーファンド（2022年8月23日から2023年8月21日まで）

○基準価額等の推移



※当ファンドの参考指数は、FTSE/TMXカナダ・オール・コーポレート・ボンド・インデックス（円換算ベース／三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前日を10,000として、委託会社が算出したものです。

○組入上位10銘柄

（組入銘柄数131銘柄）

	名称	債券種別	比率(%)
1	ATCO LTD - CLASS 1	事業債	4.98
2	ROGERS COMMUNICATIONS IN	事業債	3.22
3	ENBRIDGE INC	事業債	3.11
4	PRIME STRUCTURED MTGE TR	事業債	3.01
5	PEMBINA PIPELINE CORP	事業債	2.67
6	ATHENE GLOBAL FUNDING	事業債	2.53
7	BELL TELEPHONE CO OF CAN	事業債	2.40
8	CANADIAN WESTERN BANK	事業債	2.04
9	SMARTCENTRES REAL ESTATE	事業債	2.02
10	NORTH WEST REDWATER PART	事業債	2.02

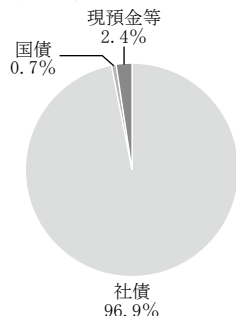
※組入比率は純資産総額に対する比率です。
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。また、上記銘柄について将来の組入れを保証するものではありません。
 ※組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

○1万口当たりの費用明細

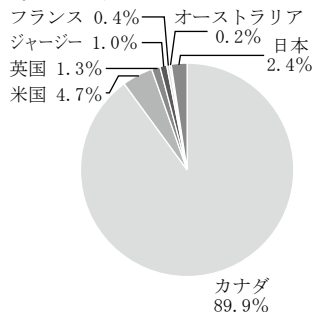
項目	当期 (2022年8月23日～2023年8月21日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	17,247円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) その他費用	13円	0.073%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他費用
（保管費用）	(12)	(0.071)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.002)	・その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	13	0.073	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 ※各項目毎に円未満は四捨五入してあります。
 ※各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

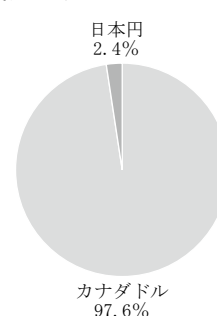
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



※組入比率は純資産総額に対する比率です。
 ※国別配分の国・地域名は、組入れ銘柄の法人登録国を示しています。
 ※各数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

指数に関して

■「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）の商標または標章に関するすべての権利はJPXが有しています。なお、本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、JPXは、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

MSCIコクサイ・インデックス

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株式指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利は同社に帰属します。同社は、同指数の内容を変更・公表を停止する権利を有しています。指数の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株式指数で、世界の新興国で構成されています。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利は同社に帰属します。同社は、同指数の内容を変更・公表を停止する権利を有しています。指数の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスに用いて行われる事業活動・サービスに一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJPMorgan・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。